

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		学童クラブ運営事業				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け						新規/継続	継続	事務事業No.	020201000446
政策体系	総合計画の施策名	0202 子育て支援及び少子化対策				単独/補助	補助	所属課	040201
	政策名	02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				主要事業	対象外		児童福祉課
	施策名	02 子育て支援及び少子化対策				市長マニフェスト	対象外		
	基本事業名	01 子育ての支援体制の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	こども未来G
財務会計上の位置付け						合併建設計画事業	対象外		
事業期間									
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (平成15年度～)		
	01	03	02	04	01	00	放課後児童対策事業		
法令根拠	桜川市学童クラブの設置及び管理に関する条例								
						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	【事務事業の内容】 学童クラブにおいて、小学1年生から6年生の児童は、家庭と同じような環境で、放課後の時間を安全に過ごすことができる。岩瀬・坂戸・南飯田・雨引・大国・真壁・樺穂・紫尾小学校の空き教室と羽黒小学校の敷地内の施設、曾根農村集落センター、谷貝分館の11ヶ所で行われている。指導員はローテーションを組み、各所で常に2名以上が指導にあたる。普段は放課後から18時まで、春休み・夏休み・冬休みは8時から18時まで活動。 保護者は月額5,000円を支払う。（別途おやつ代2,000円） 【事業費の内訳】 報酬・賃金・旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・工事請負費・備品購入費・負担金補助金及び交付金・償還金利息及び割引料					3月→新規・継続入所の受付・決定 指導員の雇用 4月→補助金実績報告 7月頃→計画作成、補助申請、夏休みの指導員の雇用・体制の整備 10月頃→放課後児童支援員資格研修への指導員派遣 毎月→保護者負担金納付書の送付及び徴収、指導員報酬の支払 学童クラブの運営、途中入所の受付				
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段（担当者の活動内容）			④活動指標（活動量を表す指標）		単位	27年度 （実績）	28年度 （実績）	29年度 （計画）	30年度 （目標）	31年度 （目標）
3月→新規・継続入所の受付・決定 指導員の雇用 4月→補助金実績報告 毎月→保護者負担金納付書の送付及び徴収、指導員賃金の支払			設置箇所数		人	11.00	11.00	11.00	11.00	0.00
			延べ利用人数（月別登録者計）		人	5,248.00	5,043.00	5,043.00	5,043.00	5,043.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）			⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）		単位	27年度 （実績）	28年度 （実績）	29年度 （計画）	30年度 （目標）	31年度 （目標）
児童（1年生から6年生）			児童数		人	5,248.00	5,043.00	5,043.00	5,043.00	5,043.00
			待機児童数		人	0.00	26.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）			⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）		単位	27年度 （実績）	28年度 （実績）	29年度 （計画）	30年度 （目標）	31年度 （目標）
児童が安全に過ごせる			安全に過ごせた児童数		人	5,248.00	5,043.00	5,043.00	5,043.00	5,043.00
			仕事と子育てが両立できている世帯数（市民アンケート）		世帯	158.00	156.00	156.00	156.00	156.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3) 投入量（事業費）の推移				27年度 （実績）	28年度 （実績）	29年度 （計画）	30年度 （目標）	31年度 （目標）	期間限定 総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	6,683	6,824	12,700	12,700	0	0	
		県支出金	千円	6,683	6,824	12,700	12,700	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	19,512	19,366	21,000	21,000	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	8,411	7,435	12,702	12,702	0	0	
	事業費計（A）			千円	41,289	40,449	59,102	59,102	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	1.00人	2.00人	0.00人		
		述べ業務時間	時間	2,525.00	2,525.00	2,525.00	2,525.00	0.00		
		人件費計（B）	千円	7,325	7,325	7,325	7,325	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	48,614	47,774	66,427	66,427	0			
事業費の内訳	28年度事業費 実績（千円）				29年度事業費 予算（千円）					
	01 報酬	34,598			01 報酬	43,485				
	05 災害補償費	7			07 賃金	2,189				
	07 賃金	597			09 旅費	861				
	09 旅費	617			11 需用費	981				
	11 需用費	855			12 役務費	636				
	12 役務費	531			13 委託料	234				
	13 委託料	233			14 使用料及び賃借料	694				
	14 使用料及び賃借料	693			15 工事請負費	7,471				
	18 備品購入費	57			18 備品購入費	236				
			2,261	合計	40,449	19 負担金補助及び交付金	2,315	合計	59,102	
(4) 当該年度の実施内容				29年度の事業内容		30年度の事業内容		31年度の事業内容		
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				学童クラブの運営管理		学童クラブの運営管理		学童クラブの運営管理		
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業										

事務事業名	学童クラブ運営事業	事務事業No.	20201000446	所属課	児童福祉課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
民生委員児童委員から要望があり、平成15年より開始。現在は、市内すべての小学校区に学童クラブを設置し運営している。平成27年度より、対象年齢が小学生全学年になり、子育てクラブから学童クラブへと名称変更をした。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
利用者から、開所時間を延長してほしい等の意見がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	児童福祉法の改正による対象児童の拡大に伴い、桜川市学童クラブの受け入れ体制の整備を図る。 対象児童拡大に伴う学童クラブの整備には、小学校の空教室等施設の確保と指導員の確保が課題と思われる。 民間委託を含め今後の検討が必要である。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 （この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている 子育て世帯の就労を支援している。
	②公共関与の妥当性 （なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
有効性	☒ 妥当である
	③成果の向上余地 （成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がある 指導員の不足により、満足に配置できていない。
効率性	④廃止・休止の成果への影響 （事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 子育て世帯の就労に影響する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 （類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 放課後子ども教室事業
公平性	☒ 連携ができる
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	☒ 削減余地がない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 （事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	☒ 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		⇒																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
☐ 終了 ☒ 継続 → ☒ 改革改善を行う → ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止 → ☐ 現状維持		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☒ 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 指導員の確保難		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上			○																						
	維持			×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 （課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価		確認欄	
☐ A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		☐	